

2023「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い アピール

たった1発の原爆による傷跡は78年が過ぎた現在においても消えることなく多くの苦しみを生み続けています。「戦争も核兵器もない平和な世界を実現する第一歩は原爆被害の実態を直視すること」です。

5月、G7広島サミットが開催され、核保有国を含む多くの首脳がヒロシマを訪れ、被爆者と懇談し、広島平和記念資料館を視察、原爆死没者慰霊碑に献花しました。貴重な一歩であったことは確かです。しかし、G7首脳が発出した「広島ビジョン」は、「核兵器のない世界」を言葉では言っていますが、それは「究極の目標」と位置づけられ、核兵器は「侵略を抑止し、戦争と威圧を防止する」と、「核抑止力」論を公然と宣言されています。このことは、被爆者と被爆地にとってはたいへん残念であり、許すことはできません。引き続き、核抑止からの脱却を訴え、今後の動きを注視していく必要があります。

被爆地ヒロシマで活動する私たちは、核兵器禁止条約を支持し“日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める”署名活動を続けています。被爆者は“自分が体験したあの地獄のような苦しみを他の誰にも味わせたくない”という強い意志をもち活動を続けています。これからも原爆被害の実相を次の世代に継承し、人道的立場に立った協調的な世界秩序を取り戻すため連帯を強めていきたいと決意しています。

引き続き地域の中で多様な団体や行政と連携し、大きなエネルギーを形成することが課題です。私たちの地道な草の根の活動の積み重ねとエネルギーが大きな世論を形成し、自国の為政者や国際社会のリーダーを動かすことにつながると確信いたします。

本日、ここに集まった私たちは、「戦争も核兵器もない平和な世界の実現」を誓い合い、以下アピールします。

記

1. 私たちは、ロシアによるウクライナ侵略に強く抗議し、ただちに停戦し、戦争の犠牲になっている方への人道的支援を求めます。
1. 私たちは、核兵器保有国を含むすべての国が核兵器禁止条約を批准し、核兵器のない平和な世界を実現するために、唯一の戦争被爆国である日本がそのリーダーシップを発揮することを求めます。
1. 私たちは、被爆地ヒロシマで活動する市民として、人道的アプローチにより、被爆者とともに、市民社会の活動を推進します。

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウォー
青い空のもと、子どもたちの笑顔が溢れる未来をいっしょに実現させていきましょう!!

2023年6月7日
「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い